

MLF 利用者懇談会 第4期第3回幹事会

日 時： 平成26年5月21日（水）10：30～12：30

出席者： 鳥養会長、福永副会長、鳥飼幹事、河村幹事、大石幹事、奥幹事
児玉、藤野、間宮（事務局）

場 所： 多地点 TV 会議（東海1号館、京都大、三重大、山梨大）

議事概要：

1. 分科会活動について

(1) 林氏、佐藤氏、川北氏、奥氏で話し合いを持った。結果は添付ファイル参照。
中性子産業利用推進協議会が持つ10個の分科会は多くはなく、今年度もこのままで存続する意向。

また、前回の幹事会を受けて、奥幹事から、各分科会長に対してアンケートを行った。
その結果ほぼすべての分科会において、他の研究家・分科会との共同開催を検討しても良いとの回答を得た。

(2) 中性子産業利用推進協議会の研究会とどのように関与していくか筋道を作りたい。
(研究会の中に、懇談会独自のセッションを設けるなど)

(3) 研究会の効果的・効率的開催に関して
GROSSのようなイベントカレンダーで情報を共有する。
また、研究会の企画情報を共有可能なシステムを作り他団体との共同開催の可否を検討しやすくする。 → 継続審議

(4) 分科会予算に関して → 各分科会幹事へ予算を提示する。(担当：河村)
(単独開催10万 x5分科会、共同開催3万 x4分科会を予算に計上している)

2. 利用者懇談会平成26年度第2回総会について

J-PARC シンポジウム開催中に同会場にて行う

7/15(火) 昼休み 12:15~14:00 場所 中ホール 300

お弁当を配付予定(前回と同じ樓外樓)

議題： 幹事選挙に関する会則及び細則の変更、会員制度の見直しについて

準備： 6月15日までに総会議事案を用意し、会員に配布

出欠の可否とともに委任状を提出していただく

また、出欠数よりお弁当の数を確定(当日入会者の分も考慮)

お弁当の注文は2週間前までに029-56-3737まで

※J-PARC シンポジウムのJTBサイトでお弁当を注文してしまった方への対応

J-PARC シンポジウムの実行委員会に現在問合せ中(事務局：間宮)

2. 若手ポスター賞について

今後のMLF シンポジウムにおいて、学生、若手研究者を対象に若手ポスター賞を用意する。事前周知は 年度初めのMLF シンポジウムの案内と同時にアナウンスする

次年度も物構研フェスタと共催の可能性 → ポスター賞の基準が異なるため難しい引き続き、検討する(担当：鳥飼、福永)。

3. 利用者懇談会ホームページについて

GROSS イベントカレンダーとリンクしてイベント情報を流す。

反響のある賑やかなHP、BLOG するための策を講じたい。

手始めに1~2週間に一度、幹事持ち回りでBLOG に記事を投稿する。

ゆくゆくは、会員にも回して、記事を投稿してBLOG を盛り上げていくのはどうか？テーマは多種多様でOK!!(担当：大石)

とりあえず、メール配信の署名の中に、HP の他にBLOG も記載する(事務局：間宮)

4. 利用者懇談会の会員制度の見直しについて(担当：福永、林、鳥養)

ユーザーの総会員化と会員無料に踏み切ったPF-UA の現状を参考にして、担当者で検討中。

解決すべき課題として、

(1) 会費無料化には、施設側からのサポートが必須。

J-PARC は施設の組織が複雑であり、施設側からのサポートの難航が予想される。

JAEA, KEK, CROSS に対し、どのような支援が可能か打診を行う。

施設の支援を受ける場合、施設に対する提言、要望団体としての独利性の担保が問題。

(2) 会員数の急増に関して、懇談会の組織の在り方を再考する必要

外国人ユーザーも入ってくる、→会則、HP、メール配信の英語化の必要性がある。

総会や議案の成立条件を現実に見直し必要がある。

引き続き、ユーザーの総会員化及び会費無料化に向けて、情報収集と根回しをしていく。

7/15 の総会に間に合えば、総会に諮るがそれ以外は次回以降に持ち越し。

5. その他

(1) 安全講習に関して

問題点：高々年に1～2回のビームタイムを持つ一般ユーザーにとって、U0のオフィスアワー中に実験参加者全員が安全講習を済ませるのは難しい。現状では、事前の安全講習に関してU0に問合せ、装置担当者が時間外講習に対応しているが、一部の装置では担当者の負担が大きい。U0の24時間対応か、インターネットによる遠隔講習を要望したい。

MLFの回答：基本は9時～20時の施設担当者のいるでお願いしたい。24時間対応は無理である。

(2) U0の24時間対応の可能性

問題点：公務のために夜間のみビームタイムに参加したり、実験中に所属機関とJ-PARCを行きせざるを得なかったりするユーザーは少なくない。ID/フィルムバッチの持ち帰りにもつながりかねない。休日夜間を問わず、ID/フィルムバッチの授受を行いたいユーザーのために、24時間対応を行ってほしいとの要望がユーザー側からも担当者側からもある。

現行：事前連絡で、U0から守衛所にID/フィルムバッチが事前に受け渡しされて対応している。施設側と相談しながら継続審議。

6. 次回幹事会の予定

6月15日までを目途に開催し、総会議事案を完成せる。